

英語科学習指導案

日 時 平成 24 年 10 月 4 日 (木) 5 校時
場 所 久慈市立三崎中学校 集会室
対 象 2 年 A 組 (男子 9 名、女子 7 名、計 16 名)
授業者 山田 将之(T1) 渡辺 紘子(T2)
エリカ・ワード(ALT)

1 単元名 PROGRAM 8 A Shelter for Pet Animals(SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)

2 単元について

(1) 単元の内容 (教材観)

平成 7 年 1 月 17 日の阪神・淡路大震災では、6,400 名以上の死者を出す恐ろしい被害をもたらした。この単元は、この震災で人間と同じように被災した動物たちのために奮闘した人々の物語であり、人と動物が助け合って生きていくことの大切さを教えてくれる題材である。語数が多く、質・量ともに読み応えのある文章になっているものの、新出事項がないため、じっくりと理解を深め、自分の考えを表現させるのにふさわしい単元である。「読む」だけでなく、「話す」「書く」活動にもつなげ、4 技能を関連させながら伸ばしていくような指導に適している。

(2) 生徒の実態 (生徒観)

これまで、対話文や日記などを読んだり聞いたりして理解した内容についてレポートするなどの、本文の内容を復元する活動を主に行ってきた。昨年度の岩手県学習定着度状況調査では、「読むこと」において正答率 86.0% (県平均 79.0%)、CRT では正答率 72.1% (全国平均 64.5%) となっており、おおむね良好な結果であった。しかし、まとまった文章を聞いたり読んだりする機会があったものの、語数にすると 40~60 語程度のもので、本単元のように 1 ページで 80 語以上ある文章を読む経験はなかった。ここでは語数の多い英文を読むことに少しずつ慣れるように、概要を把握したり、細部までじっくりと読み込んだりと様々な方法で読解させる必要がある。

一方、「書くこと」に関しては苦手意識を感じている生徒が多い。昨年度の岩手県学習定着度状況調査では、「書くこと」において正答率 69.6% (県平均 65.4%)、CRT では正答率 65.8% (全国平均 59.3%) となっており、他の領域から比べると正答率に大きな差が生じている。そこで、本単元を扱うに当たり、本題材に関連する新聞記事やエッセイを用いて、考えを持ち、書くための「型」の指導を十分に行う必要がある。

(3) 指導の構想 (指導観)

学習指導要領では、4 技能を統合的に活用させ、総合的に 4 技能を伸ばすこと、特に発信力を養うことが重視されている。本単元においては、内容の豊かな文章を読むことで、自分の意見や感想を持たせ、それを英語で発信する力を養っていく。単元の目標を達成するために次のことに留意して指導したい。

- ① スパイラルに言語材料を定着させるため、帯活動を工夫する。
- ② 口頭によるパターンプラクティスの時間を十分に確保し、個から全体、全体から個、ペア活動など様々な学習形態で基本事項の定着を図る。
- ③ ペア・グループ活動や教師の机間指導（特に T2 との連携を図る）により、支援やチェックを充実させる。
- ④ 4 技能統合型の言語活動を行い、表現と理解の一体化を図る。
- ⑤ 「双方向性」「関連性」「即時性」を持ち合わせた言語活動の配置を工夫する。
- ⑥ 「発言・発表」「熟考」「受容と高めあい」が相互に関連し合うような授業展開に配慮する。

3 単元の目標

- 20 語程度で意見や感想を話したり書いたりすることができる。
- 200～250 語程度の文章を読み、概要を理解することができる。

4 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
この観点では評価しない。	○20 語程度で意見や感想を話したり書いたりすることができる。	○200～250 語程度の文章を読み、概要を理解することができる。	この観点では評価しない。

5 指導計画及び評価規準（総括的評価のみ記述）

学習内容	時数	評価規準				評価方法及び評価場面
		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
・新聞記事（日本語）をもとに題材を意識化する。 ・読んだことをもとに自分の意見や感想を英語で書く。	1					
・本文に出てくる”I have to do something.”について東日本大震災の時に何ができたかを考え、英語で表現する。	1					
・阪神淡路大震災の際に書かれたエッセイを読み印象に残った文について考える。 ・前時までに考えてきたことをもとにエッセイを書く。	1					
・語彙や文法の確認をする。 ・全文を読み、T or F や Q & A を通して内容を理解する。	1			○200～250 語程度の文章を読み、概要を理解することができる。		(理解) 後日ペーパーテスト
・本文の中の一文を取り上げて自分の考えを20語程度で書く。	3 本時 (3/3)		○20語程度で意見や感想を話したり書いたりすることができる。(本時のみ評価)			(表現) ワークシート
・”importance of family”について自分の考えを20語程度で書く。	1		○20語程度で意見や感想を話したり書いたりすることができる。			(表現) ワークシート

6 本校の研究における授業改善の視点

視点1 言語活動の充実

- ① 学習用語の理解と使用
- ② 言葉等による表現場面の設定

視点2 かかわり合い

- ① 教え合い、支え合い、助け合う関係の構築
- ② 自分の考えを他者へ伝える活動の積み重ね

視点3 少人数指導

- ① 個を大切にした指導の充実
- ② 個別支援の充実

7 本時の指導

(1) 本時の目標

- ”importance of animals and human relations”について自分の考えを 20 語程度で書く。

(2) 本時の指導構想

本時は、PROGRAM 8 の最終ページを扱い、動物と人間の関係について考えていく。

導入場面では、帯活動により既習事項の復習を行うことで授業の雰囲気作りを図る。そして、前時の復習として口頭で内容を確認していく。その後、本時に扱うページの内容について概要確認をして題材に対する意識づけを図る。

展開場面では、”importance of animals and human relations”について取り上げ、体験等を交えながら考えを深めていく。その際、教師と生徒間における英語でのやり取りを通じてゴールのアウトプットに対するイメージ化を図りたい。そして、自分が言いたいことをキーワードとして挙げ、それをもとにペアでスピーキングを行う。教師によるモニターを通して、書く活動に入る。言えたことを書くという流れを作りスムーズに展開させたい。

終末場面では、本時で学習したことについての振り返りとして、動物と人間の大切さについて短い日本語で3つ記述させ、宿題の5行詩に結びつける。

なお、本時は、授業改善の視点として、「視点1 〈言語活動の充実〉」「視点2 〈かかわり合い〉」の2点について意識して指導する。「視点1」では、さらに①既習の文法事項について日本語で説明させる活動、②英語を用いて自分の考えを表現させる活動の設定を行う。「視点2」では、①ペア活動を通じた学び合う関係の構築、②英語で自分の考えを伝えあう活動を重点とする。

(3) 本時の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
	○ ”importance of animals and human relations”について自分の意見を 20 語程度の英語で書くことができる。		

(4) 本時の展開

段階	学習内容と学習活動 (●)	授業改善の視点(☆)/評価(*)/指導上の留意点(・)
導入 25分	0. 帯活動① (チャイム読み) 【語彙】 ●2分前学習で「単語リスト」の練習をする。チャイムが鳴ったら鳴り終えるまでにいくつ言えるかテストする。 1. 帯活動② (文法説明) 【文法】 ●接続詞の使い方や意味について説明させる。 2. 帯活動③ (スキット・メイキング) 【基本文+α】 ●1年生「おぼえよう」の対話に1往復オリジナルで加える。 3. 前時の復習 ●口頭で p.80~81 の内容を確認する。 4. 概要把握 ●口頭で p.82 の内容を確認する。 <div style="border: 3px double black; padding: 5px; text-align: center;"> ”importance of animals and human relations”について 20 語程度で自分の意見を書こう </div>	授業改善の視点(☆)/評価(*)/指導上の留意点(・) ☆視点1-① ペアでじゃんけんをし、勝った生徒は when について T1 に、負けた生徒は if について T2 に説明する。 ☆視点2-① ペアでスキットを作成する。教師のチェックを受けたらワークシートに書く。 ・デジタル教材を活用する。
展開 20分	5. 課題解決① ●教師-生徒間で動物に関する体験や趣味嗜好について英語でやり取りをする。 6. 課題解決② ●話したいことの要点をキーワードに、簡単なスピーチをペアで行う。 7. まとめ ●自分の考えを 20 語程度の英語で書く。	・まとめにつながるようなキーワードを板書するとともに、モデルを示す。 ☆視点2-② ペアでスピーチを発表しあい、教師のモニターを受ける。 * 【表現】・・・ワークシート ☆視点1-② 自分の考えを英語で表現させる。
終末 5分	8. 振り返り ●動物と人間の関係の大切さについて考えたことを短い日本語で3つ記述する。 9. 予告と挨拶 ●宿題として、5行詩を書くことを確認する。	